

2021年度（22年3月期）第3四半期 決算概要

2022年1月31日

日本電気株式会社

(<https://jpn.nec.com/ir>)

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

- I. 2021年度 第3四半期累計期間 決算概要
- II. 2021年度 業績予想
- III. 成長事業の進捗状況
- IV. 第3四半期累計期間 決算概要（補足）
- V. 第3四半期 決算概要（補足）
- VI. 2021年度 年間（補足）

※ 「当期利益」は、「親会社の所有者に帰属する当期利益」の金額を表示しています。

今回の決算のポイント

3Qまでの進捗を受け年間の業績予想を上方修正

- 部材不足による業績への影響を見極め、年間の業績予想にも影響を織り込み済
- 調整後営業利益を1,550億円から1,600億円へ修正

<2021年度 年間 業績予想>

	修正前	修正後	期初予想比
調整後営業利益	1,550億円	1,600億円	(+50億円)
調整後当期利益	900億円	930億円	(+30億円)

I. 2021年度 第3四半期累計期間 決算概要

第3四半期累計 実績サマリー

第3四半期累計

(億円)

	上期<6ヵ月>			第3四半期<10～12月>			第3四半期累計期間<9ヵ月>		
	20年度 実績	21年度 実績	前年度比	20年度 実績	21年度 実績	前年 同期比	20年度 実績	21年度 実績	前年度比
売上収益	13,150	13,828	+ 5.2%	7,294	7,136	△ 2.2%	20,444	20,964	+ 2.5%
営業利益	200	232	+ 32	624	241	△ 383	824	473	△ 351
対売上収益比率（％）	1.5%	1.7%		8.6%	3.4%		4.0%	2.3%	
調整後営業利益	290	421	+ 131	680	338	△ 341	970	760	△ 211
対売上収益比率（％）	2.2%	3.0%		9.3%	4.7%		4.7%	3.6%	
税引前利益	194	258	+ 64	664	233	△ 431	858	491	△ 367
当期利益	110	133	+ 23	435	116	△ 319	545	249	△ 296
対売上収益比率（％）	0.8%	1.0%		6.0%	1.6%		2.7%	1.2%	
調整後当期利益	166	261	+ 95	471	182	△ 289	637	443	△ 194
対売上収益比率（％）	1.3%	1.9%		6.5%	2.6%		3.1%	2.1%	
E B I T D A※	894	1,065	+ 171	826	706	△ 120	1,720	1,771	+ 51
対売上収益比率（％）	6.8%	7.7%		11.3%	9.9%		8.4%	8.4%	
フリー・キャッシュ・フロー	297	11	△ 286	△ 1,379	△ 285	+ 1,094	△ 1,082	△ 274	+ 807
参考：平均為替レート（円）	1ドル	107.19	109.54	105.15	112.48	106.51	110.52		
	1ユーロ	120.34	130.83	124.04	130.44	121.57	130.70		

※ EBITDA=売上総利益－販売管理費＋減価償却費・償却費

Orchestrating a brighter world



第3四半期累計 実績サマリー (セグメント別)

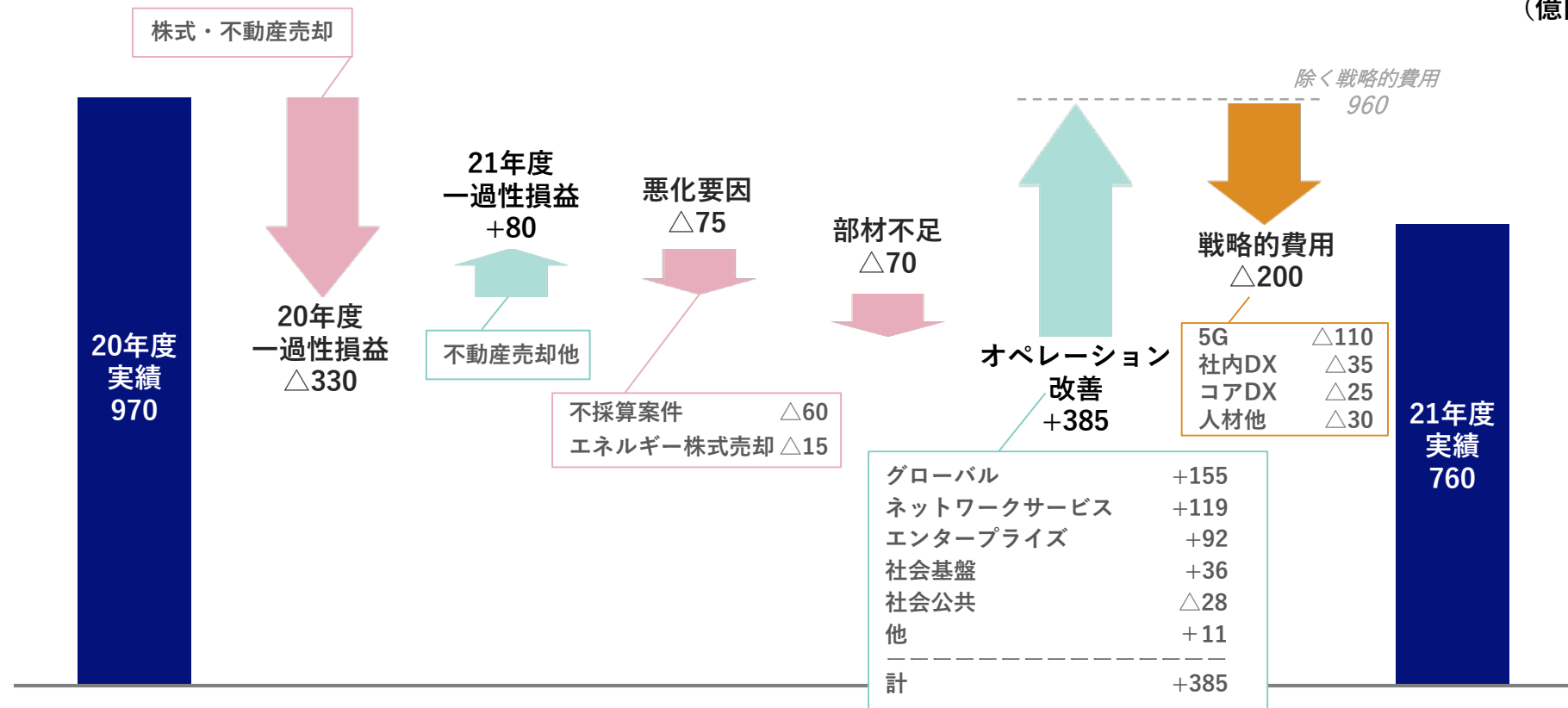
第3四半期累計

		上期<6ヵ月>			第3四半期<10~12月>			第3四半期累計期間<9ヵ月>		
		20年度 実績	21年度 実績	前年度比	20年度 実績	21年度 実績	前年度比	20年度 実績	21年度 実績	前年度比
社会公共	売上収益	1,771	1,718	△ 3.0%	971	877	△ 9.7%	2,742	2,595	△ 5.3%
	調整後営業利益	46	40	△ 7	68	37	△ 31	114	76	△ 38
	調整後営業利益率 (%)	2.6%	2.3%		7.0%	4.2%		4.2%	2.9%	
社会基盤	売上収益	2,816	2,908	+ 3.3%	1,789	1,544	△ 13.7%	4,605	4,452	△ 3.3%
	調整後営業利益	166	204	+38	187	145	△ 42	353	349	△ 4
	調整後営業利益率 (%)	5.9%	7.0%		10.5%	9.4%		7.7%	7.8%	
エンタープライズ	売上収益	2,381	2,822	+ 18.5%	1,163	1,316	+ 13.1%	3,544	4,138	+ 16.7%
	調整後営業利益	180	222	+42	82	122	+40	262	344	+82
	調整後営業利益率 (%)	7.5%	7.9%		7.1%	9.3%		7.4%	8.3%	
ネットワーク サービス	売上収益	2,255	2,255	± 0%	1,403	1,246	△ 11.2%	3,658	3,501	△ 4.3%
	調整後営業利益	62	84	+22	137	74	△ 63	199	158	△ 41
	調整後営業利益率 (%)	2.7%	3.7%		9.8%	6.0%		5.4%	4.5%	
グローバル	売上収益	2,193	2,352	+ 7.3%	1,059	1,193	+ 12.7%	3,252	3,545	+ 9.0%
	調整後営業損益	△ 33	124	+158	114	57	△ 57	81	181	+100
	調整後営業損益率 (%)	-1.5%	5.3%		10.8%	4.8%		2.5%	5.1%	
その他	売上収益	1,734	1,773	+ 2.2%	910	960	+ 5.5%	2,644	2,732	+ 3.4%
	調整後営業損益	72	△ 23	△ 95	24	37	+13	96	14	△ 82
	調整後営業損益率 (%)	4.1%	-1.3%		2.7%	3.9%		3.6%	0.5%	
調整額	調整後営業損益	△ 202	△ 229	△ 28	67	△ 133	△ 200	△ 135	△ 363	△ 228
合計	売上収益	13,150	13,828	+ 5.2%	7,294	7,136	△ 2.2%	20,444	20,964	+ 2.5%
	調整後営業利益	290	421	+131	680	338	△ 341	970	760	△ 211
	調整後営業利益率 (%)	2.2%	3.0%		9.3%	4.7%		4.7%	3.6%	

(億円)

調整後営業利益の増減要因（前年度比）

（億円）



受注動向：3Q累計（9ヵ月累計）前年度比

◆ ITサービス

◆ 5G

：企業向けの堅調な需要により+2%の増 ※GIGAスクール需要は除く

：5G基地局の拡大により高水準で推移

（前年度比）

社会公共

△3%  ： 消防・防災向け減少も、公共・医療向け好調

社会基盤（除くJAE）

+1%  ： 防衛向け堅調 ※GIGAスクール需要は除くエンタープライズ
（除くNECファシリティーズ）+7%  ： 金融業、製造業、流通・サービス業向け全て堅調

ネットワークサービス

△1%  ： 5G基地局拡大、固定系大型案件の反動減

グローバル

+32%  ： Avalog連結寄与/受注好調、Netcracker需要拡大
※海洋、ディスプレイ事業は除く

全社

+4%  ※海洋、ディスプレイ事業は除く

（四半期別の詳細はP.26をご参照ください）

受注動向：3Q(3ヵ月) 前年度比

(前年度比)

社会公共

△3%  : 中堅・中小企業向けが減少、医療向け好調

社会基盤(除くJAE)

△17%  : 中央省庁向けおよび防衛向けが減少 ※GIGAスクール需要は除くエンタープライズ
(除くNECファシリティーズ)+10%  : 製造業、流通・サービス業向けが伸長

ネットワークサービス

△12%  : 部材不足影響により減、固定系大型案件の反動減

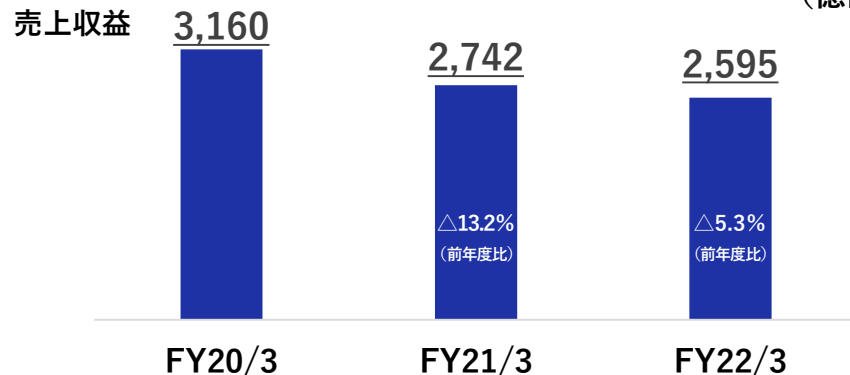
グローバル

+112%  : Avaloq連結寄与/受注好調、Netcracker需要拡大
※海洋、ディスプレイ事業は除く

全社

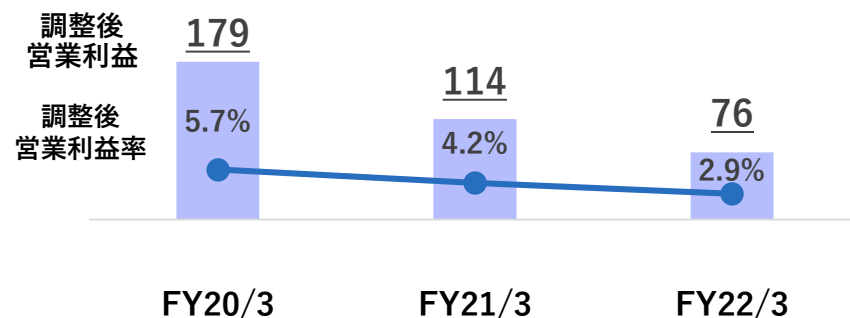
+7%  ※海洋、ディスプレイ事業は除く

(億円)



売上収益 2,595億円 (△5.3%)

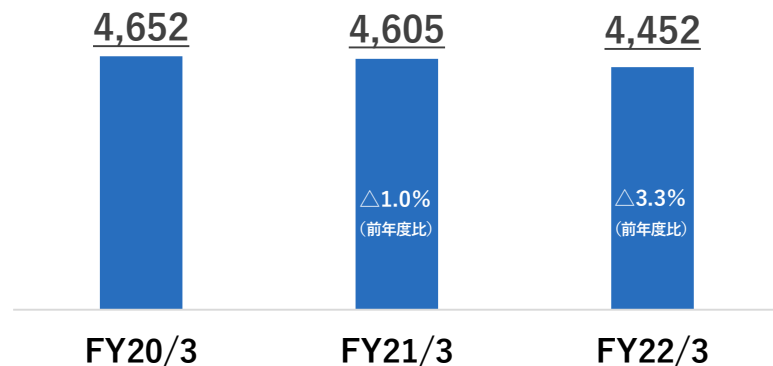
- 消防・防災向けや地域産業向けが減少



調整後営業利益 76億円 (△38億円)

- 主に売上減に伴い減益

売上収益 (億円)

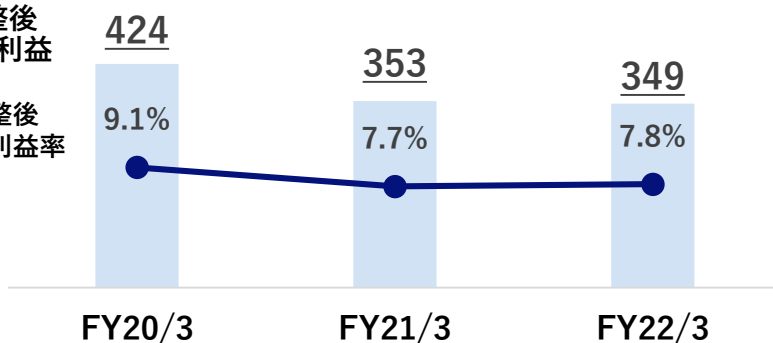


売上収益 4,452億円 (△3.3%)

- 前年度にGIGAスクール構想によるPC特需あり減収
- 連結子会社*1は増収

*1: 日本航空電子工業(株)

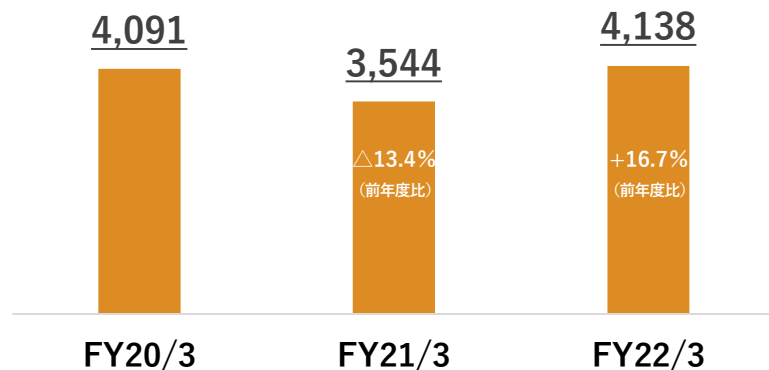
調整後
営業利益
調整後
営業利益率



調整後営業利益 349億円 (△4億円)

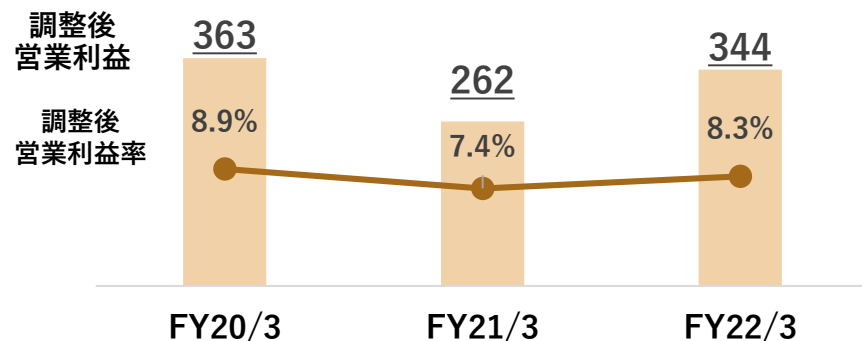
- 連結子会社が増益も、本体での不採算案件により前年並み

売上収益 (億円)



売上収益 4,138億円 (+16.7%)

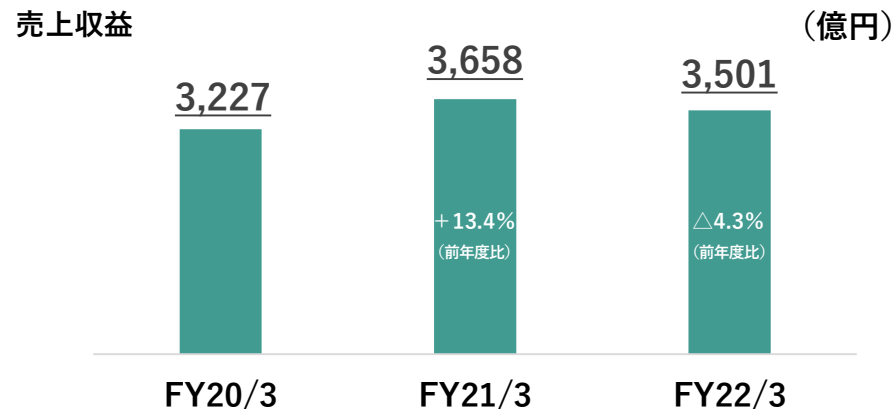
■ 全領域で増加



調整後営業利益 344億円 (+82億円)

■ 売上増に伴い増益

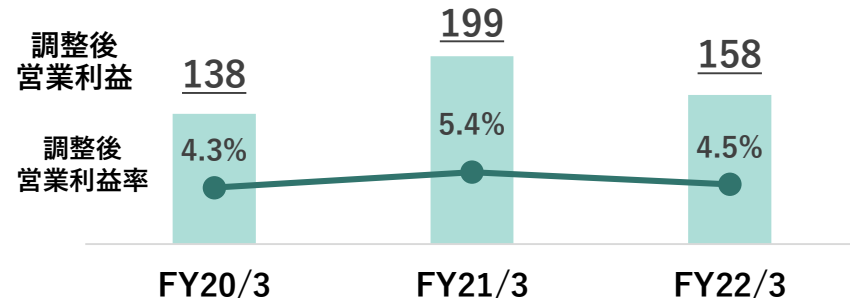
ネットワークサービス



売上収益 3,501億円 (△4.3%)

- 部材不足の影響あるも 5G事業(国内)が拡大
- 連結子会社*1は減少

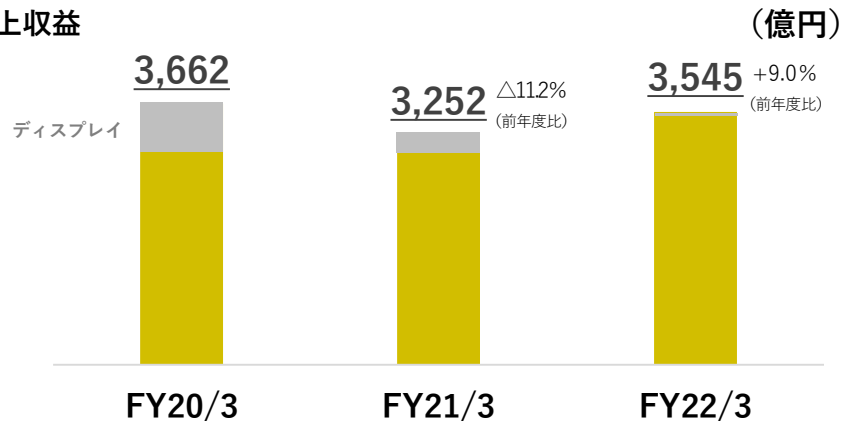
*1: NECネットエスアイ(株)



調整後営業利益 158億円 (△41億円)

- グローバル 5G展開に向けた戦略的費用増により減益

売上収益



売上収益 3,545億円 (+9.0%)

■ DG/DF*領域を中心に増収

*デジタル・ガバメント/デジタル・ファイナンス

調整後営業利益

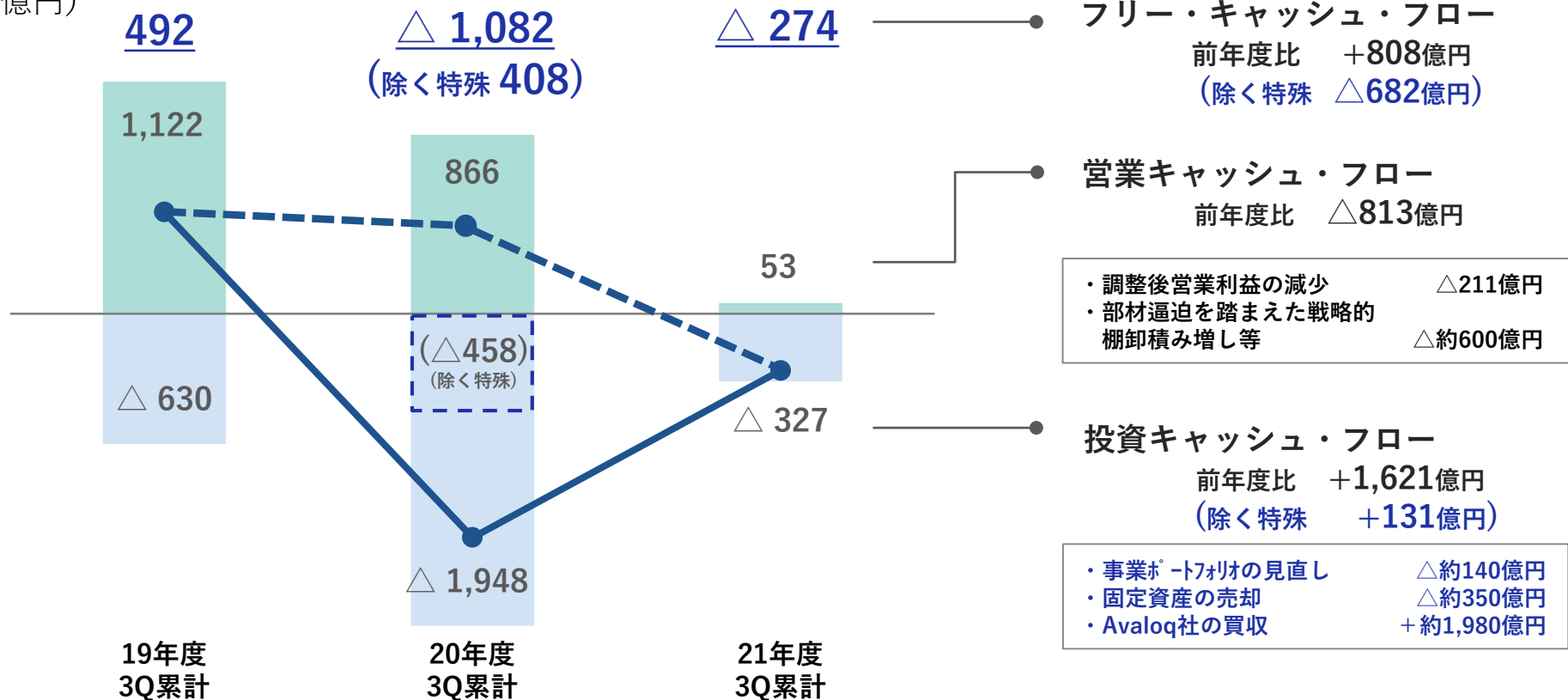


調整後営業利益 181億円 (+100億円)

■ ポートフォリオ改革および
売上増に伴い増益

フリー・キャッシュ・フローの状況

(億円)



II. 2021年度 業績予想

■ 21年度業績予想を上方修正

※予想値は1/31時点
(億円)

	通期			期初 予想比
	20年度 実績	21年度 予想	前年度比	
売上収益	29,940	30,000	+ 0.2%	-
営業利益	1,538	1,250	△ 288	+ 50
対売上収益比率 (%)	5.1%	4.2%		
調整後営業利益	1,782	1,600	△ 182	+ 50
対売上収益比率 (%)	6.0%	5.3%		
当期利益	1,496	700	△ 796	+ 30
対売上収益比率 (%)	5.0%	2.3%		
調整後当期利益	1,654	930	△ 724	+ 30
対売上収益比率 (%)	5.5%	3.1%		
EBITDA※	2,958	3,050	+ 92	+ 50
対売上収益比率 (%)	9.9%	10.2%		
フリー・キャッシュ・フロー	1,524	1,000	△ 524	△ 300
参考：平均為替レート (円)	1ドル	105.96	105.00	
	1ユーロ	122.84	125.00	
1株当たり配当金 (円)	90	100	+ 10	-

		通期			期初 予想比
		20年度 実績	21年度 予想	前年度比	
社会公共	売上収益	4,251	4,150	△ 2.4%	-
	調整後営業利益	394	310	△ 84	-
	調整後営業利益率 (%)	9.3%	7.5%		
社会基盤	売上収益	6,929	6,600	△ 4.7%	-
	調整後営業利益	594	620	+ 26	-
	調整後営業利益率 (%)	8.6%	9.4%		
エンタープライズ	売上収益	5,031	5,500	+ 9.3%	-
	調整後営業利益	482	530	+48	-
	調整後営業利益率 (%)	9.6%	9.6%		
ネットワーク サービス	売上収益	5,388	5,550	+ 3.0%	-
	調整後営業利益	412	350	△ 62	-
	調整後営業利益率 (%)	7.6%	6.3%		
グローバル	売上収益	4,500	4,600	+ 2.2%	-
	調整後営業利益	75	220	+145	-
	調整後営業利益率 (%)	1.7%	4.8%		
その他	売上収益	3,842	3,600	△ 6.3%	-
	調整後営業利益	77	0	△ 77	-
	調整後営業利益率 (%)	2.0%	0.0%		
調整額	調整後営業損益	△ 251	△ 430	△ 179	+ 50
合計	売上収益	29,940	30,000	+ 0.2%	-
	調整後営業利益	1,782	1,600	△ 182	+ 50
	調整後営業利益率 (%)	6.0%	5.3%		

部材供給リスクへの対応

半導体を中心とした部材不足による影響、年間営業損益 $\Delta 80$ 億円は
年間予想 調整後営業損益 1,600億円に織り込み済

- 年間での部材不足影響(営業損益 $\Delta 270$ 億円：①)に対し、
代替品への切り替え/代替部材への設計変更/販売価格の適正化に加え
不要不急な費用の抑制/効率化を実施(営業損益：+190億円：②)し、
業績への影響を最小化

		営業損益
部材不足影響	(①)	$\Delta 270$
対策額	(②)	+190
Net		(①+②) $\Delta 80$

III. 成長事業の進捗状況

国内

- 2021年度は部材不足の影響もあり売上遅延が発生するも、中長期の見通しへの影響なし

海外

- 海外顧客からの需要は旺盛
 - 2022年度より出荷を開始、売上見合いの限界利益が増益に寄与
-
- 基地局の無線機および制御ソフトウェアを手掛ける米国のBlue Danube Systems社の買収に合意

DG/DF

- 年間目標に対し計画通りに進捗
- シナジー強化やオフショア集約などの収益性改善を推進
- Avaloqの受注好調（欧州、アジア）

コアDX

- コンサルおよび共通プラットフォームが順調に拡大し、年間目標に対し計画通りに進捗
- 2022年4月にデジタルビジネスプラットフォームユニットへリソースを集約し、DXオフアリングの訴求力強化・提供拡大

2025中期経営計画の実現に向けた組織改革

目指すべき組織の姿

- ◆ 意思決定をよりマーケットに近い立場で行い、アジャイル、スピーディに事業運営
- ◆ ダイナミックで柔軟なリソースアロケーションで事業成長を加速
- ◆ 多様な人材の活躍と成長を促進
- ◆ プロフェッショナル人材がリスペクトされ、活躍する仕組みで価値創出を加速



2022年4月の改革内容

- ① **組織の大括り化**
 - 事業部レベルの組織数を1/3に再編
- ② **レイヤーのフラット化**
 - 8階層→6階層に
- ③ **組織デザインの柔軟性**
- ④ **権限委譲と責任の明確化・強化**

\Orchestrating a brighter world

NEC

IV. 第3四半期累計期間 決算概要（補足）

受注動向 (ハードウェア含む)

(前年度比)	2020年度				2021年度				3Q累計 前年同期比コメント
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	3Q累計	
社会公共	△31%	△12%	△5%	+16%	+4%	△9%	△3%	△3%	
社会基盤(除くJAE)	+9%	+41%	+20%	△12%	△4%	△7%	△28%	△11%	除くGIGAスクール需要 +5%
エンタープライズ (除く NECファシリティーズ)	△22%	△15%	△2%	+8%	+10%	+2%	+10%	+7%	
ネットワークサービス	+1%	+26%	+48%	△6%	+19%	△5%	△12%	△1%	
グローバル	+75%	+38%	△27%	△32%	△47%	△7%	+94%	△4%	除く海洋、ディスプレイ +32%
全社	△5%	+10%	+5%	△2%	△2%	△5%	+6%	△1%	除く海洋、ディスプレイ +4%
参考)ハードウェア*	△36%	△8%	△1%	△1%	+13%	△12%	△15%	△6%	

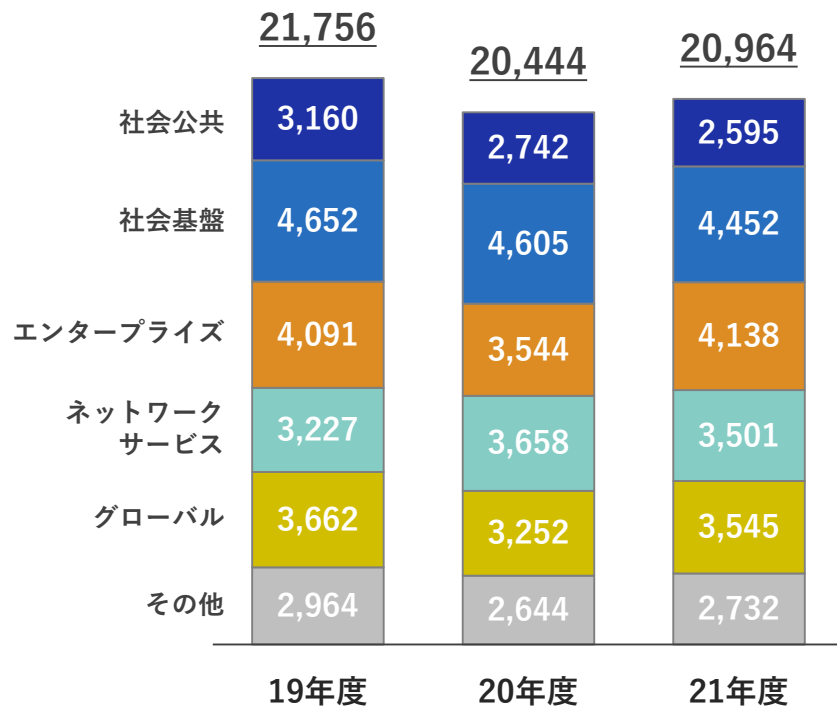
営業利益 調整項目

第3四半期累計

(億円)	2019年度			2020年度			2021年度			前年差	前年差	前年差
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計
営業利益	469	311	779	200	624	824	232	241	473	32	△ 383	△ 351
調整項目	85	42	127	91	56	146	189	98	287	98	42	141
買収に伴う 無形資産の償却費	83	42	125	91	47	137	188	95	283			
M & A 関連コスト	2	0	2	0	9	9	1	2	4			
調整後営業利益	554	353	906	290	680	970	421	338	760	131	△ 341	△ 211

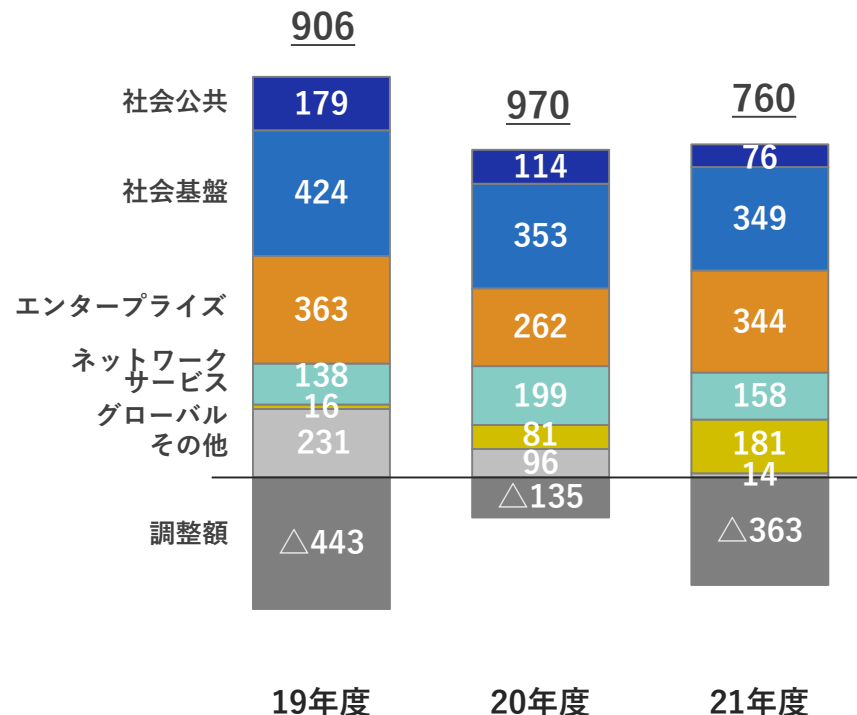
セグメント別実績（3ヵ年推移）

売上収益

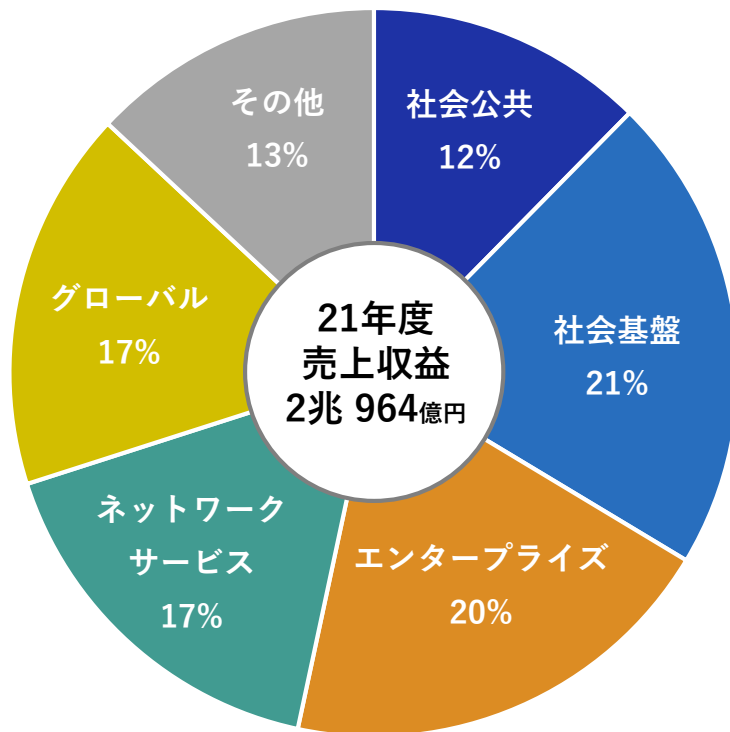


調整後営業損益

(億円)



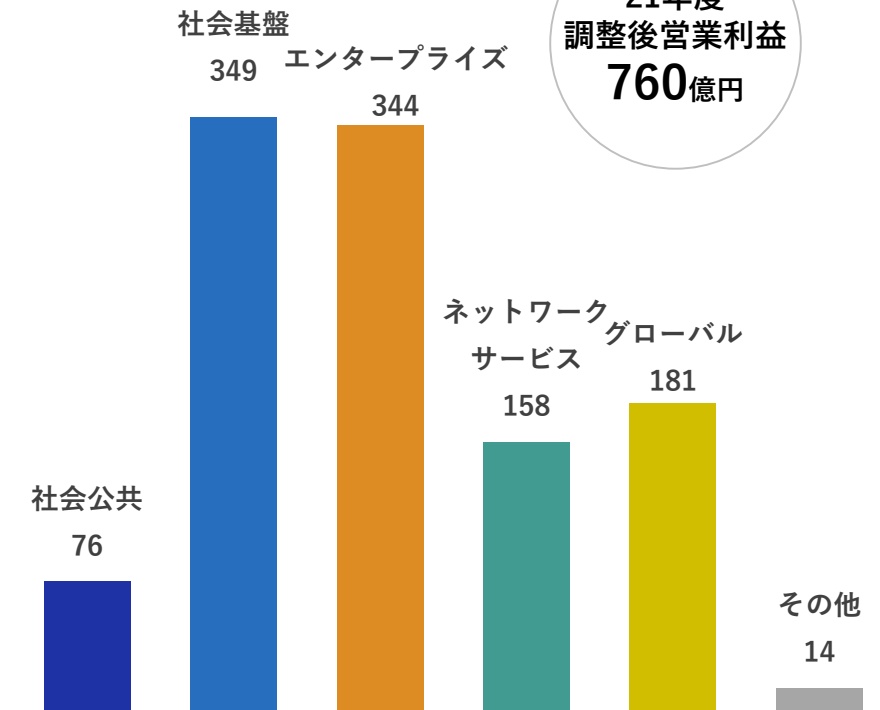
セグメント別 実績



調整後営業利益

(億円)

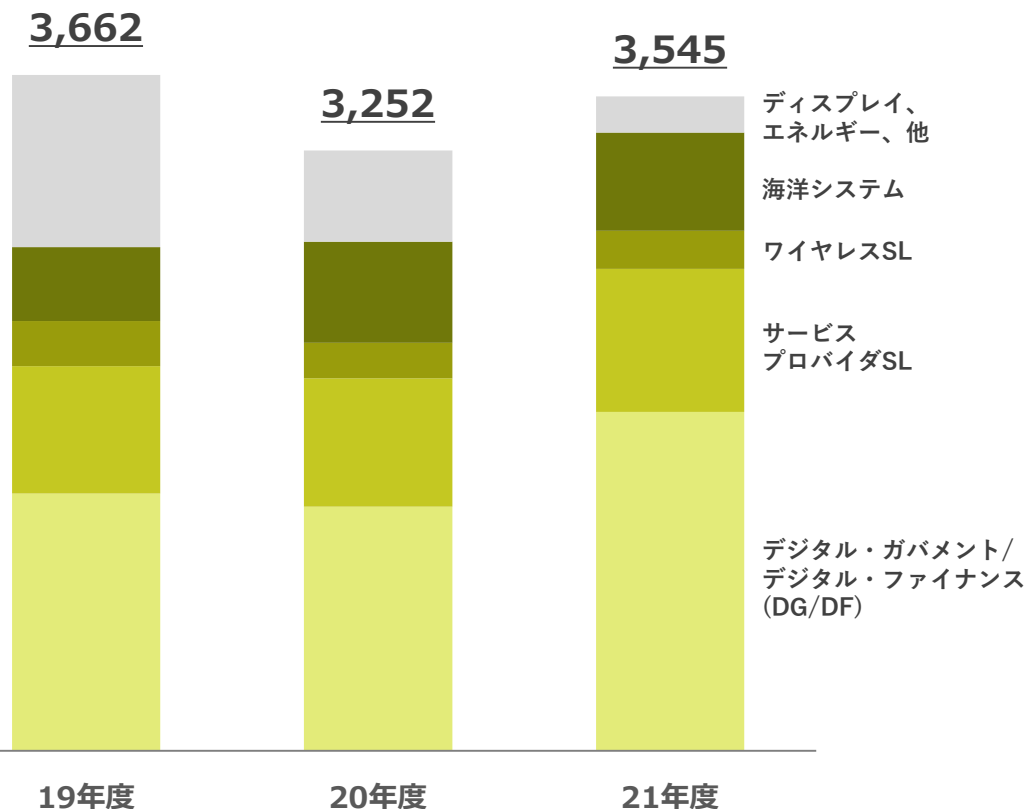
21年度
調整後営業利益
760億円



グローバル事業の状況

売上収益

(億円)



■ DG/DF

- ・Avaloq社の新規連結により増収
- ・KMD社のデータ活用事業拡大

■ サービスプロバイダSL

- ・好調を維持し増収

■ ワイヤレスSL

- ・インド市場等の市況回復により増収

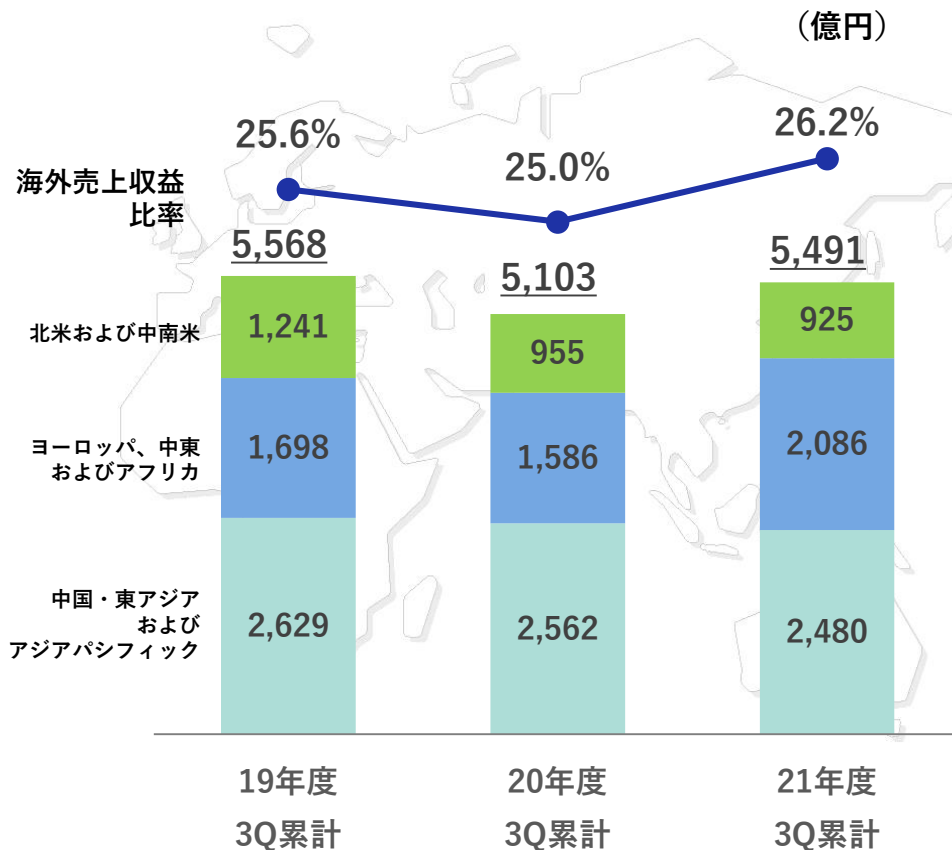
■ 海洋システム

- ・案件の構成変化により若干の減収

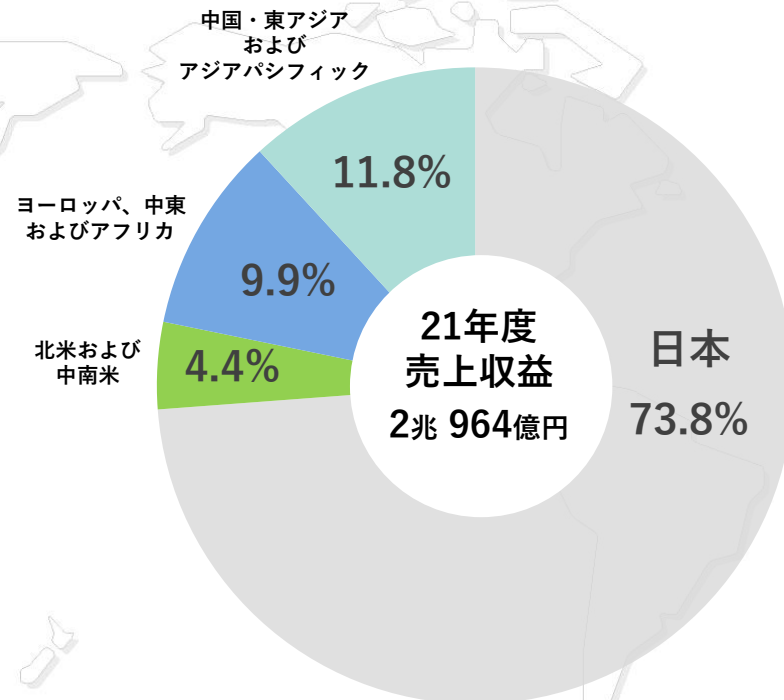
■ ディスプレイ、エネルギー、他

- ・ディスプレイ事業の非連結化

海外売上収益

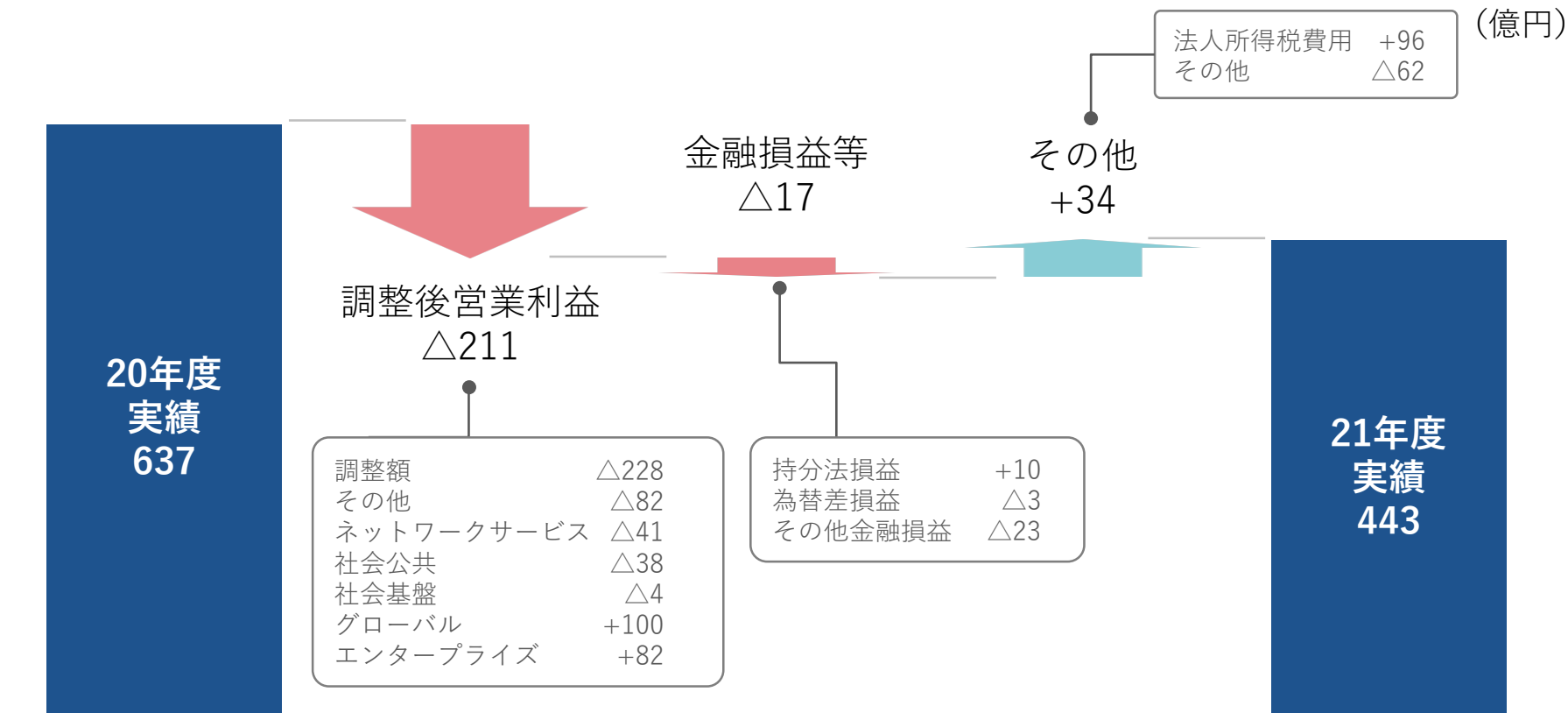


地域別売上収益

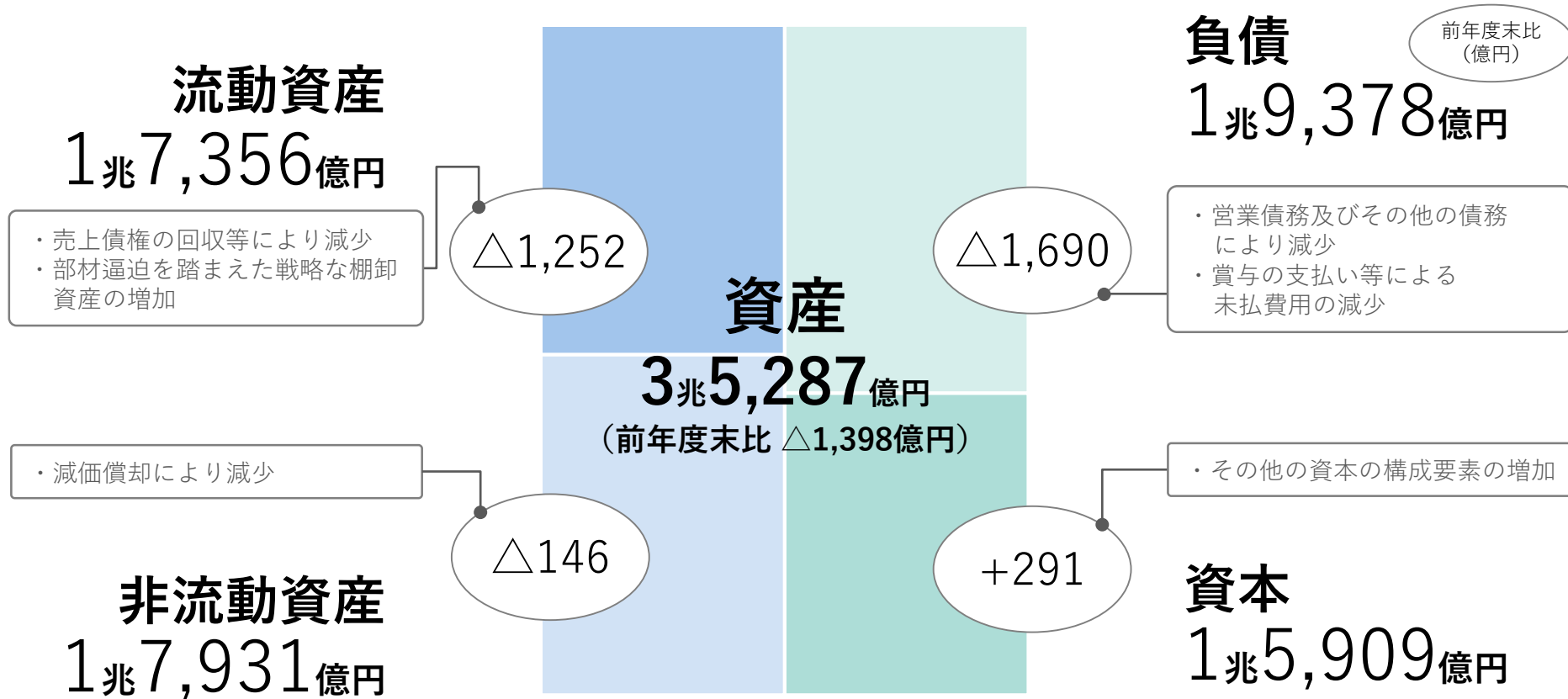


※ 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

調整後当期利益増減（前年同期比）



バランスシートの状況 (2021/12末)



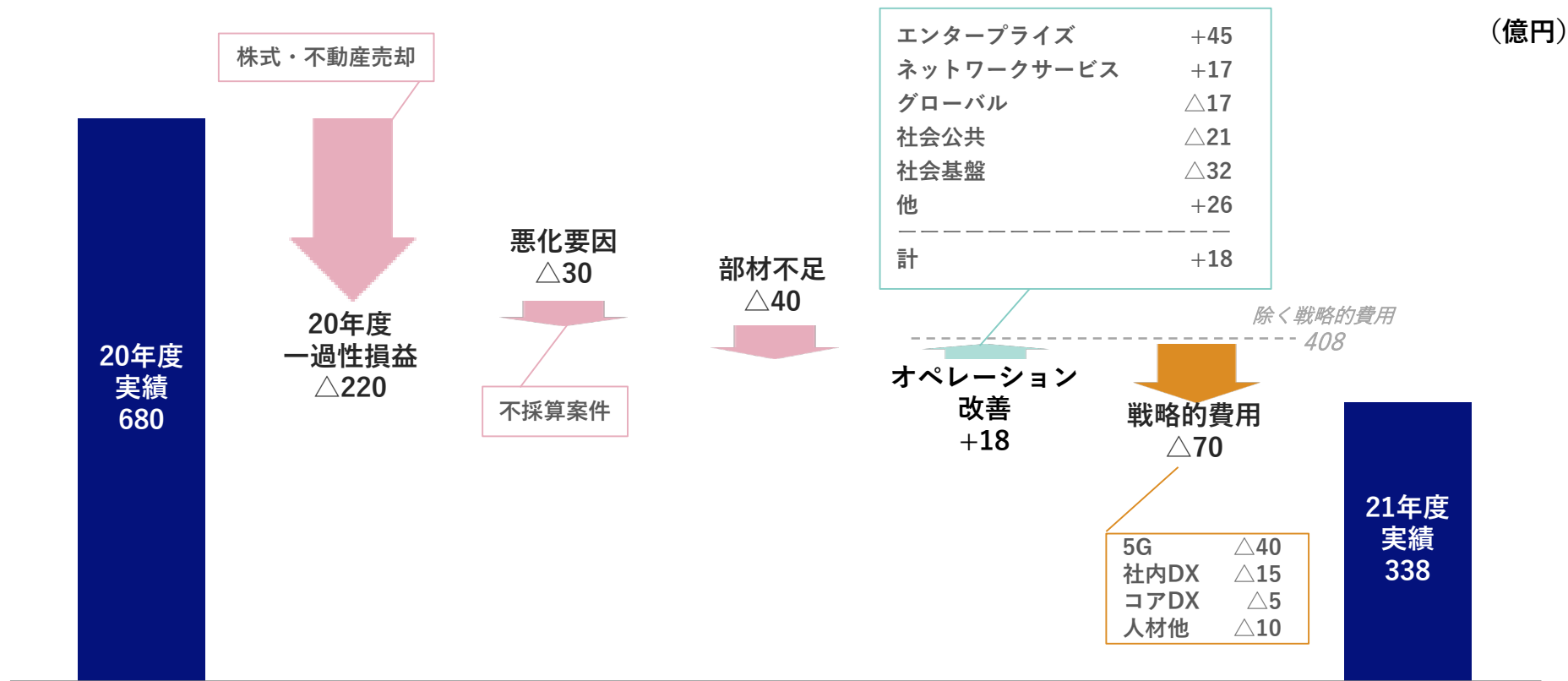
財政状態に関する経営指標

(億円)

	21/3末	21/12末	21/3末比
資産	36,686	35,287	△ 1,398
資本	15,618	15,909	+ 291
有利子負債残高	7,029	6,889	△ 140
親会社の所有者に帰属する持分	13,082	13,312	+ 231
親会社所有者帰属持分比率 (%)	35.7%	37.7%	+ 2.1pt
D/E レシオ (倍)	0.54	0.52	+ 0.02pt
ネット D/E レシオ (倍)	0.14	0.21	△ 0.07pt
現金及び現金同等物の期末残高	5,233	4,139	△ 1,095

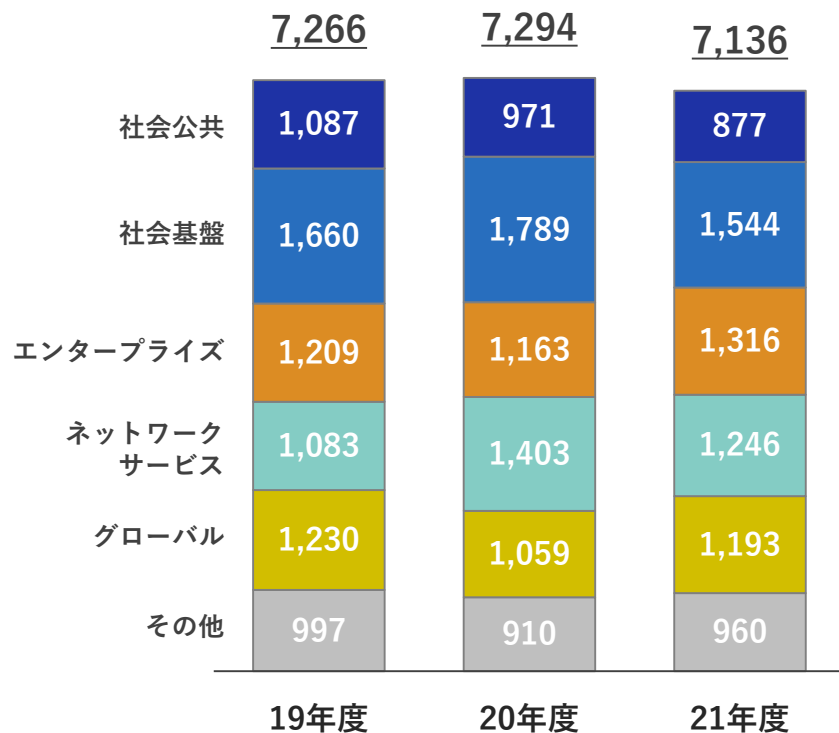
V. 第3四半期 決算概要（補足）

調整後営業利益の増減要因（前年度比）



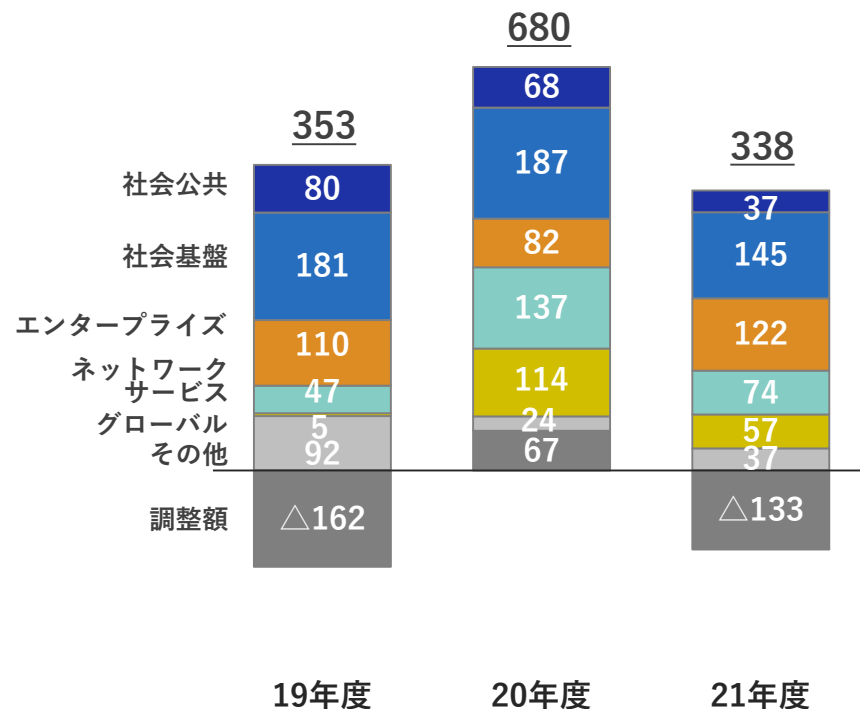
セグメント別実績（3ヵ年推移）

売上収益

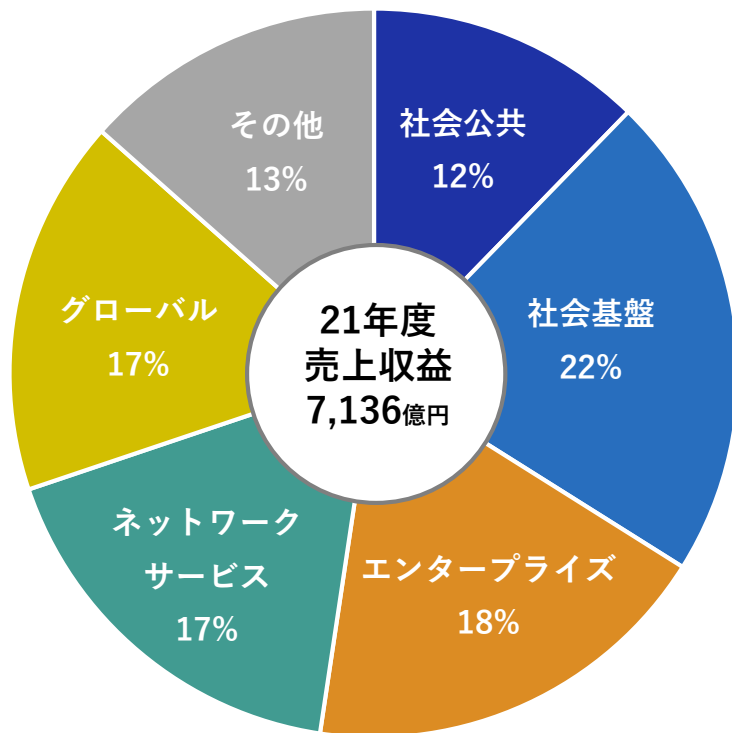


調整後営業損益

(億円)



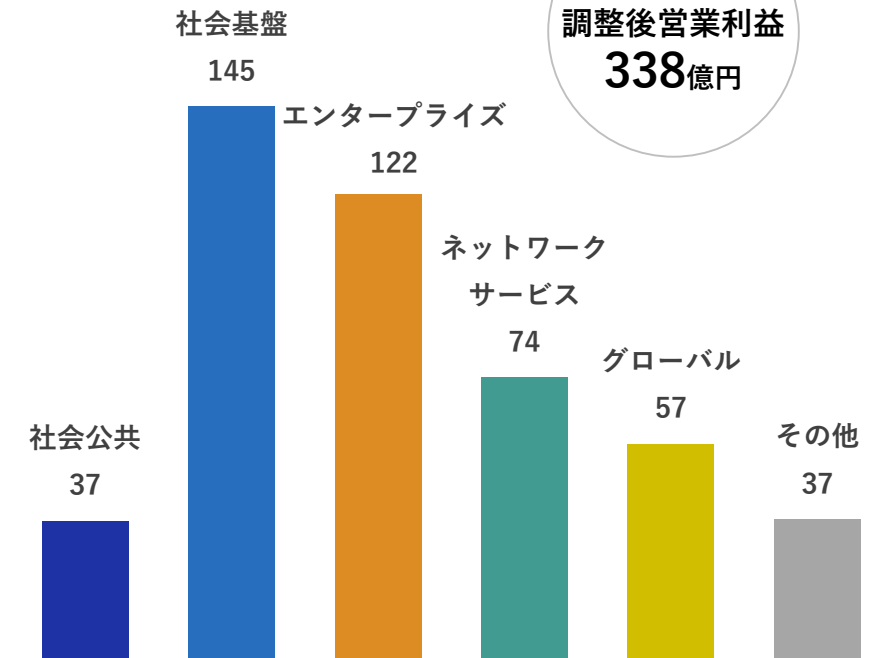
セグメント別 実績



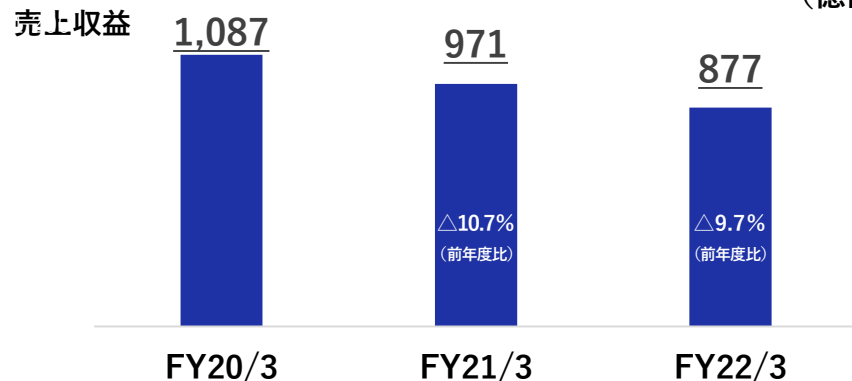
調整後営業利益

(億円)

21年度
調整後営業利益
338億円

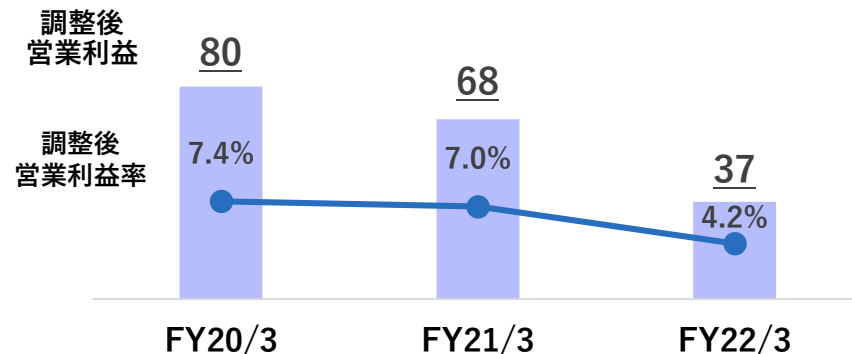


(億円)



売上収益 877億円 (△9.7%)

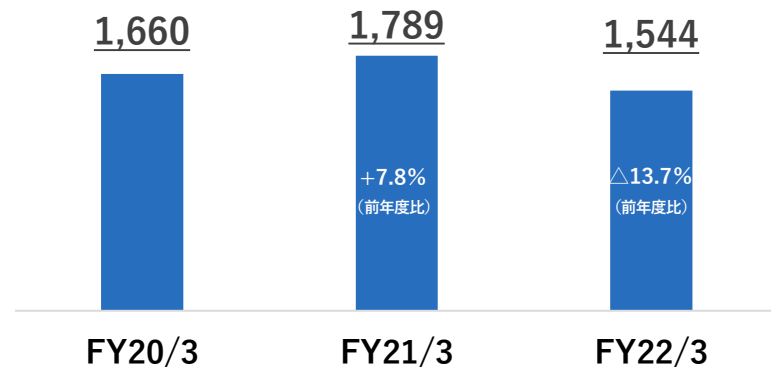
- 消防・防災向けや地域産業向けが減少



調整後営業利益 37億円 (△31億円)

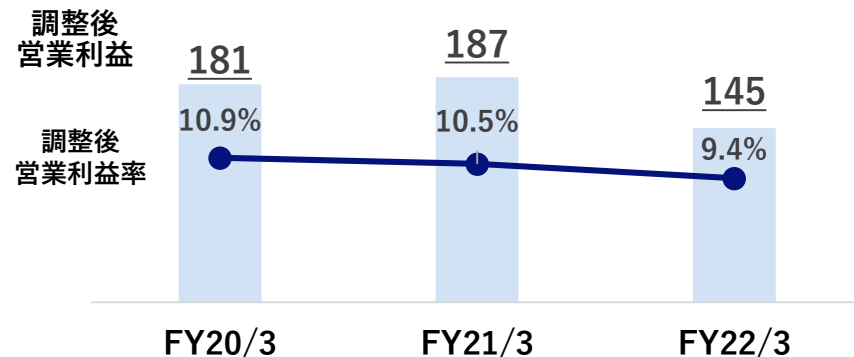
- 売上減に伴い減益

売上収益 (億円)



売上収益 1,544億円 (△13.7%)

- 前年度の特需および
放送・メディア向けの減少により減収

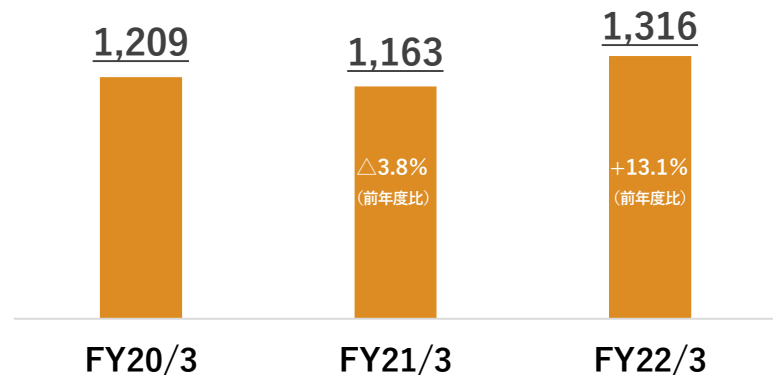


調整後営業利益 145億円 (△42億円)

- 減収に伴い減益

売上収益

(億円)



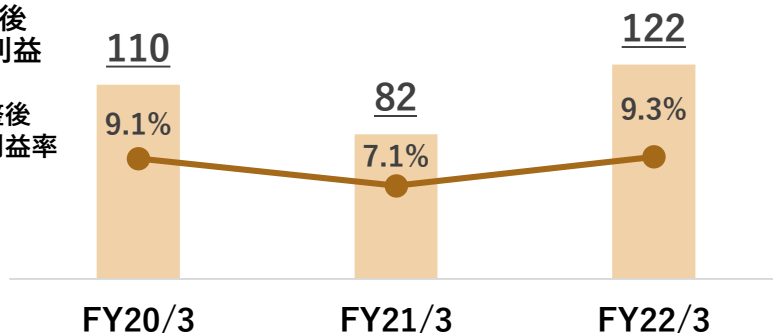
売上収益

1,316億円 (+13.1%)

- 製造業向け、流通・サービス業向けが増加

調整後 営業利益

調整後 営業利益率



調整後営業利益

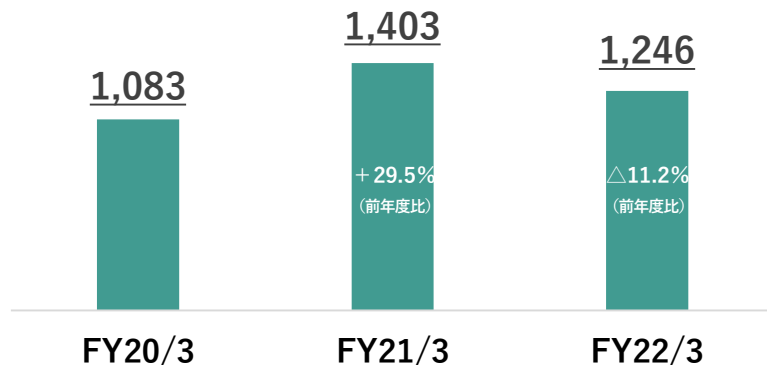
122億円 (+40億円)

- 売上増に伴い増益

ネットワークサービス

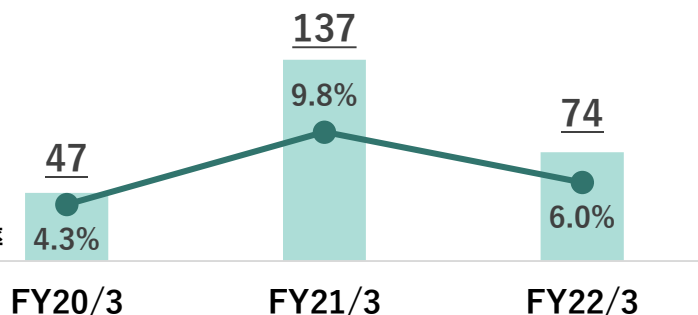
売上収益

(億円)



売上収益 1,246億円 (△11.2%)

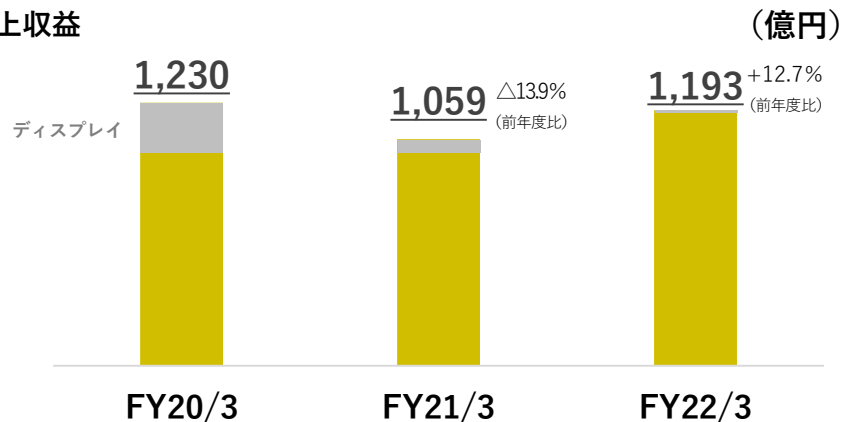
- 部材不足の影響あり 5G事業は前年並み
- 固定領域は部材不足の影響もあり
高水準であった前年度から減収

調整後
営業利益調整後
営業利益率

調整後営業利益 74億円 (△63億円)

- グローバル 5G展開に向けた
戦略的費用増および売上減に伴い減益

売上収益



売上収益

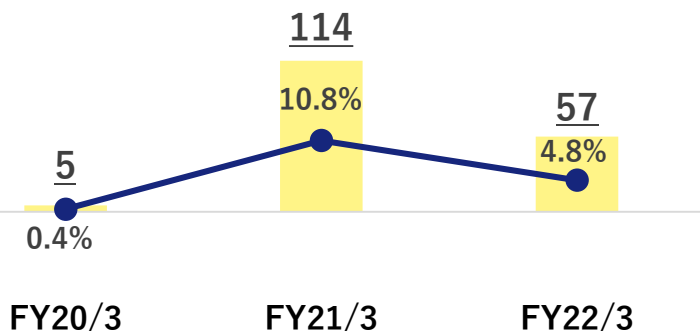
1,193億円 (+12.7%)

- DG/DF*領域を中心に増収

*デジタル・ガバメント/デジタル・ファイナンス

調整後営業利益

調整後営業利益率



調整後営業利益

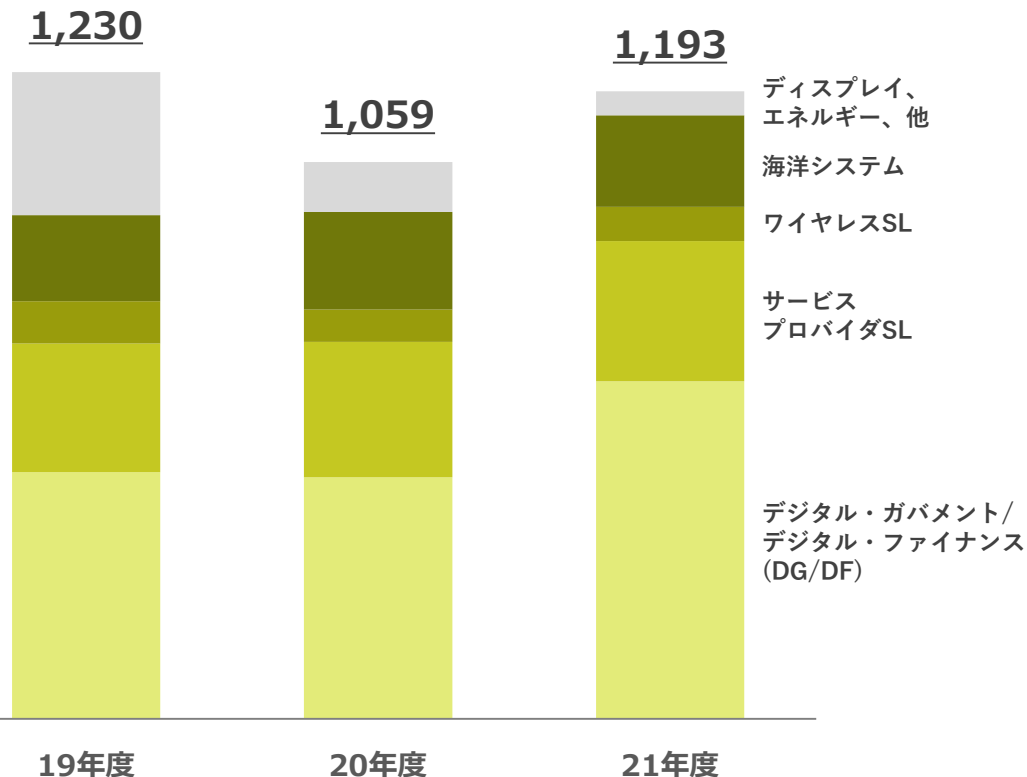
57億円 (△57億円)

- 前年度の子会社株式売却益の反動減および人員増に伴う費用増により減益

グローバル事業の状況

売上収益

(億円)



■ DG/DF

- ・Avaloq社の新規連結により増収

■ サービスプロバイダSL

- ・好調を維持し増収

■ ワイヤレスSL

- ・インド市場等の市況回復により増収

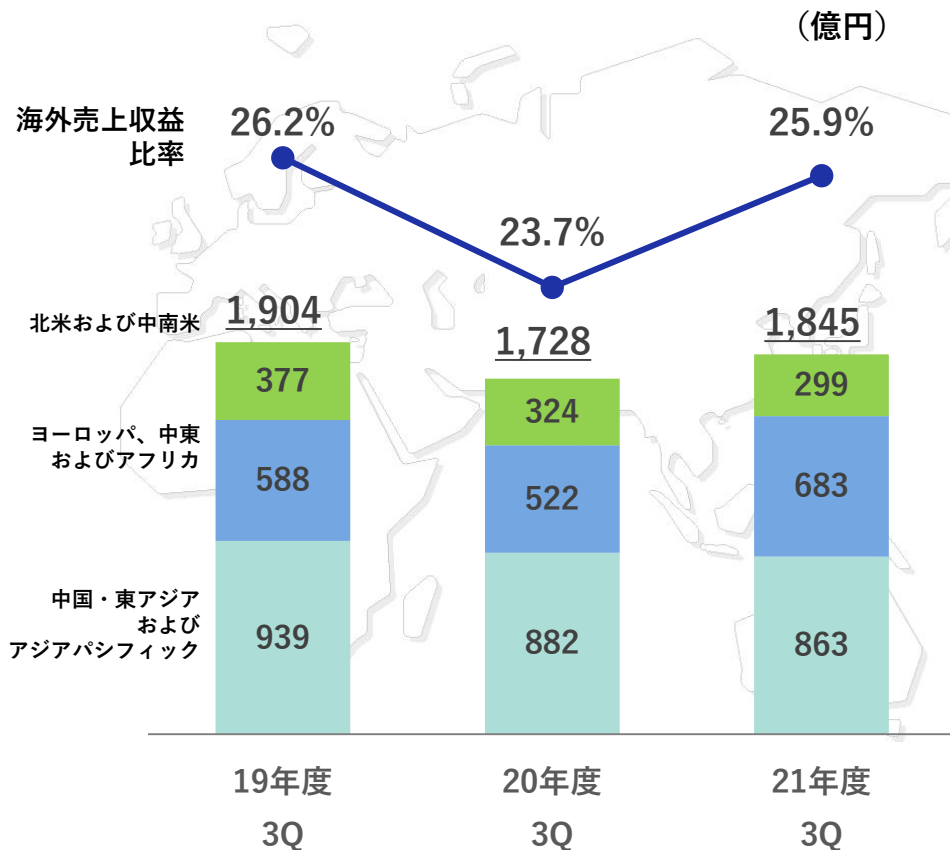
■ 海洋システム

- ・案件の構成変化により若干の減収

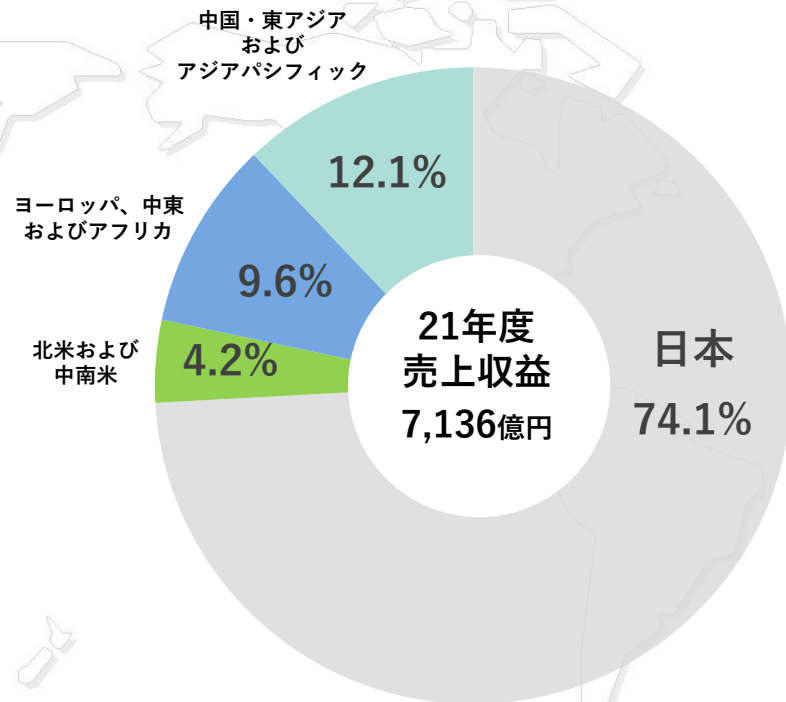
■ ディスプレイ、エネルギー、他

- ・ディスプレイ事業の非連結化

海外売上収益



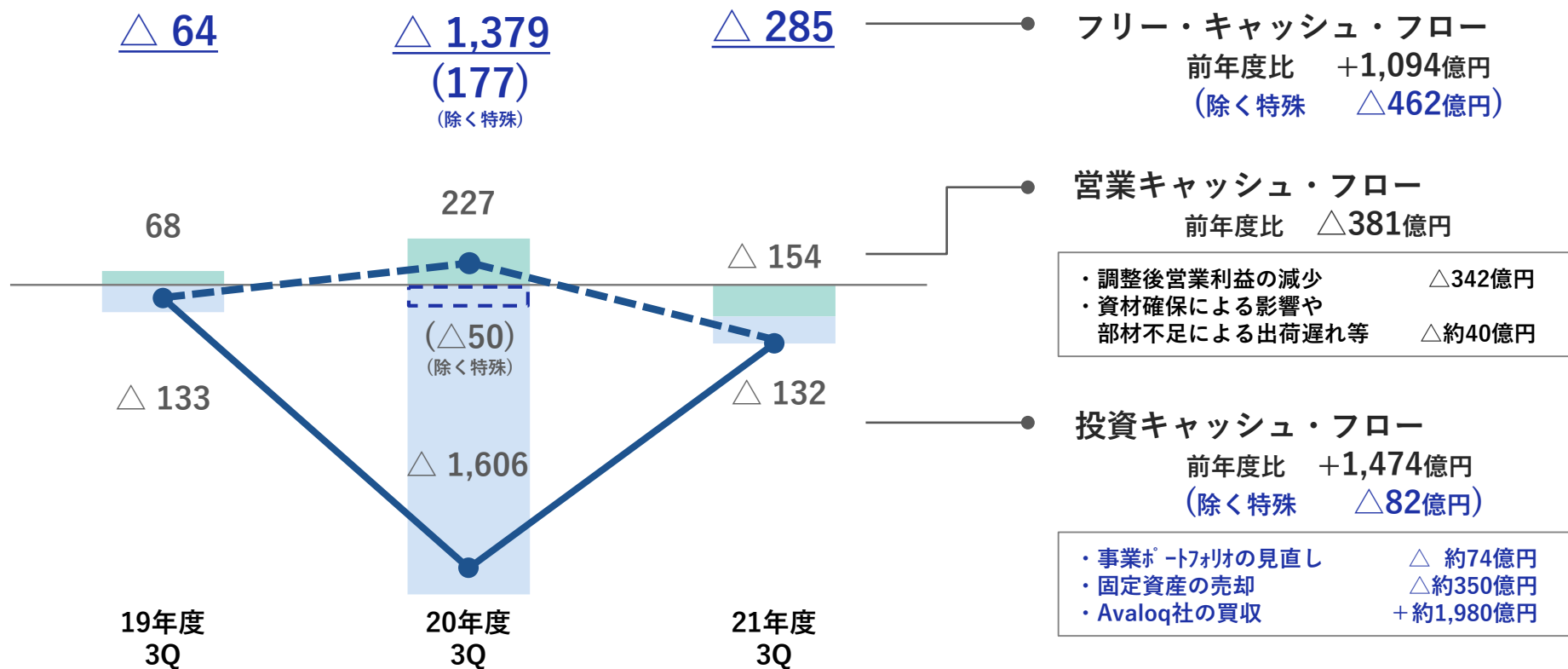
地域別売上収益



※ 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています

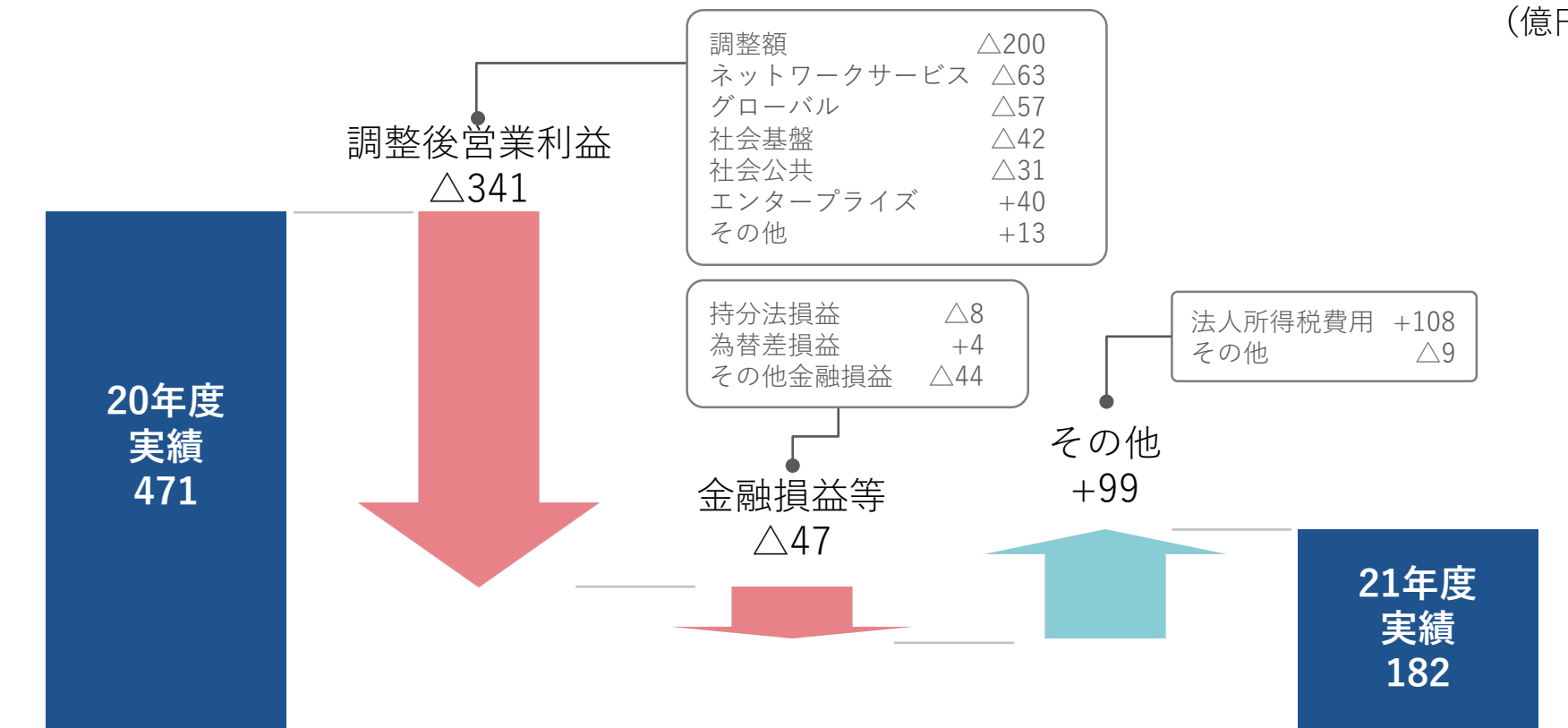
フリー・キャッシュ・フローの状況

(億円)



調整後当期利益増減（前年同期比）

（億円）



VI. 2021年度 年間（補足）

営業利益 調整項目

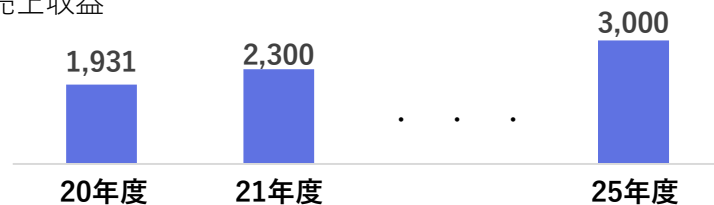
21予想

(億円)	2019年度 年間	2020年度 年間	2021年度 年間	前年差 年間
営業利益	1,276	1,538	1,250	△ 288
調整項目	182	245	350	105
買収に伴う 無形資産の償却費	170	228		
M & A 関連コスト	12	17		
調整後営業利益	1,458	1,782	1,600	△ 182

成長事業：2021年度の施策

デジタル・ガバメント/デジタル・ファイナンス (億円)

売上収益



- APACを含めた販売シナジーの創出
- オフショア活用によるコストシナジーの創出
- 小規模ボルトオン買収の継続

グローバル5G

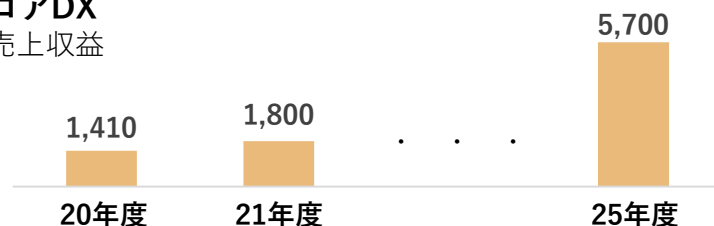
売上収益



- 国内市場でのシェア拡大
- 海外での複数商用案件の獲得。生産、販売体制の増強
- 基地局、コア、運用管理ソフトの開発増強

コアDX

売上収益



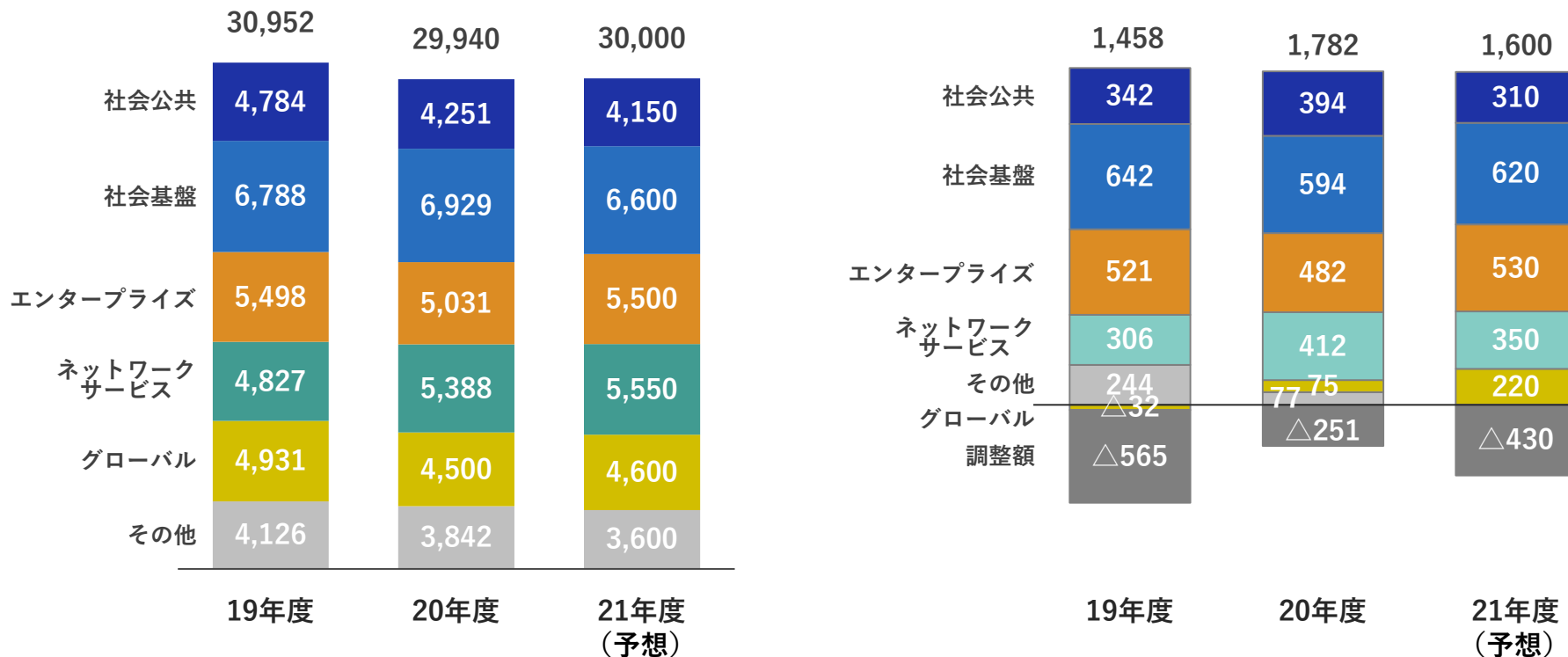
- ABeam連携によるリソース活用強化と案件の獲得増
- 行政DXの戦略提言・推進を加速
- ハイパースケーラーとの連携強化

セグメント別 推移 (3ヵ年推移)

売上収益

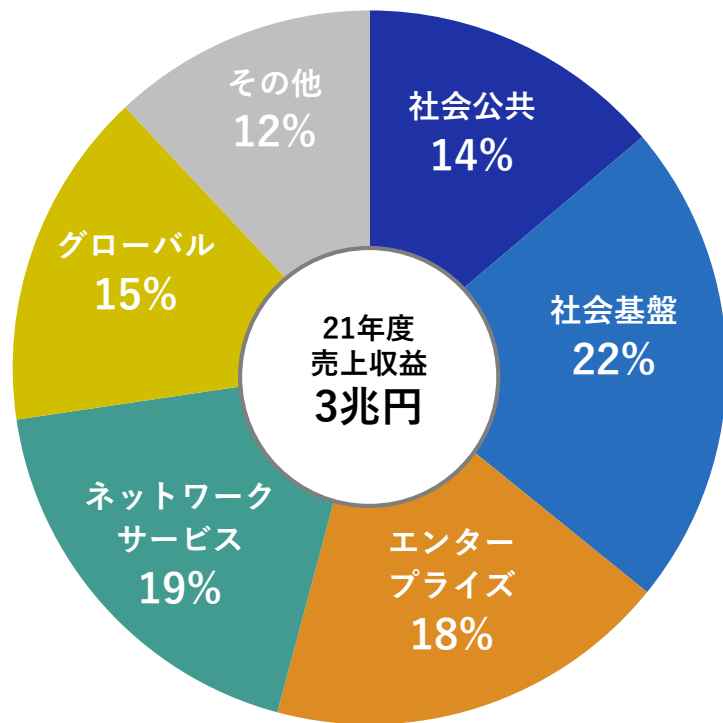
調整後営業損益

(億円)



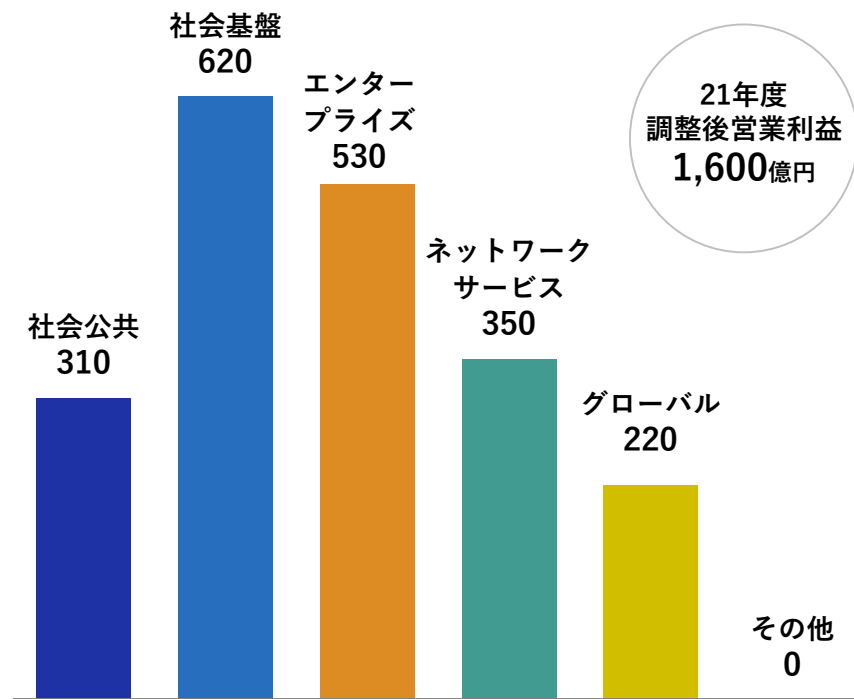
セグメント別 2021年度予想

売上収益



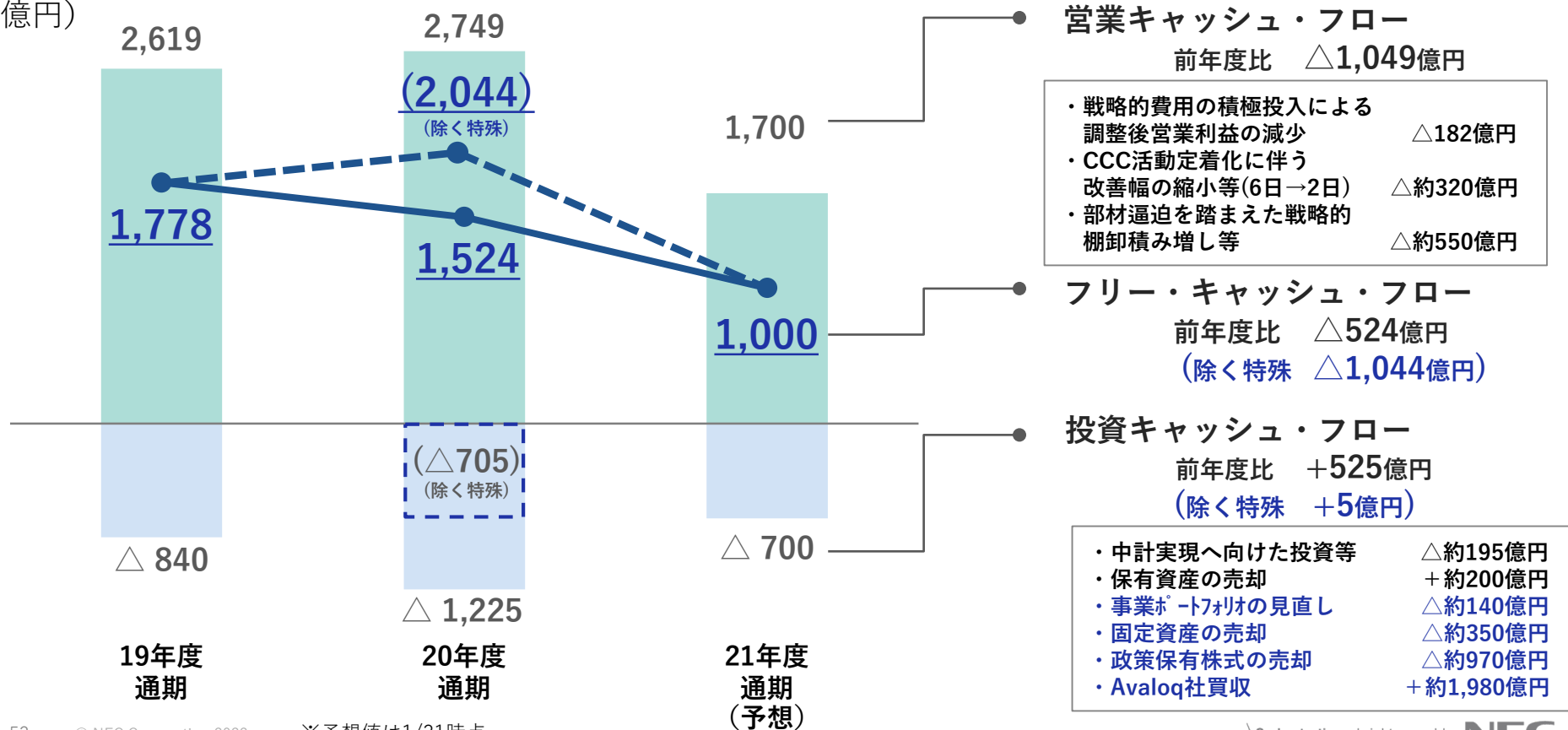
調整後営業利益

(億円)

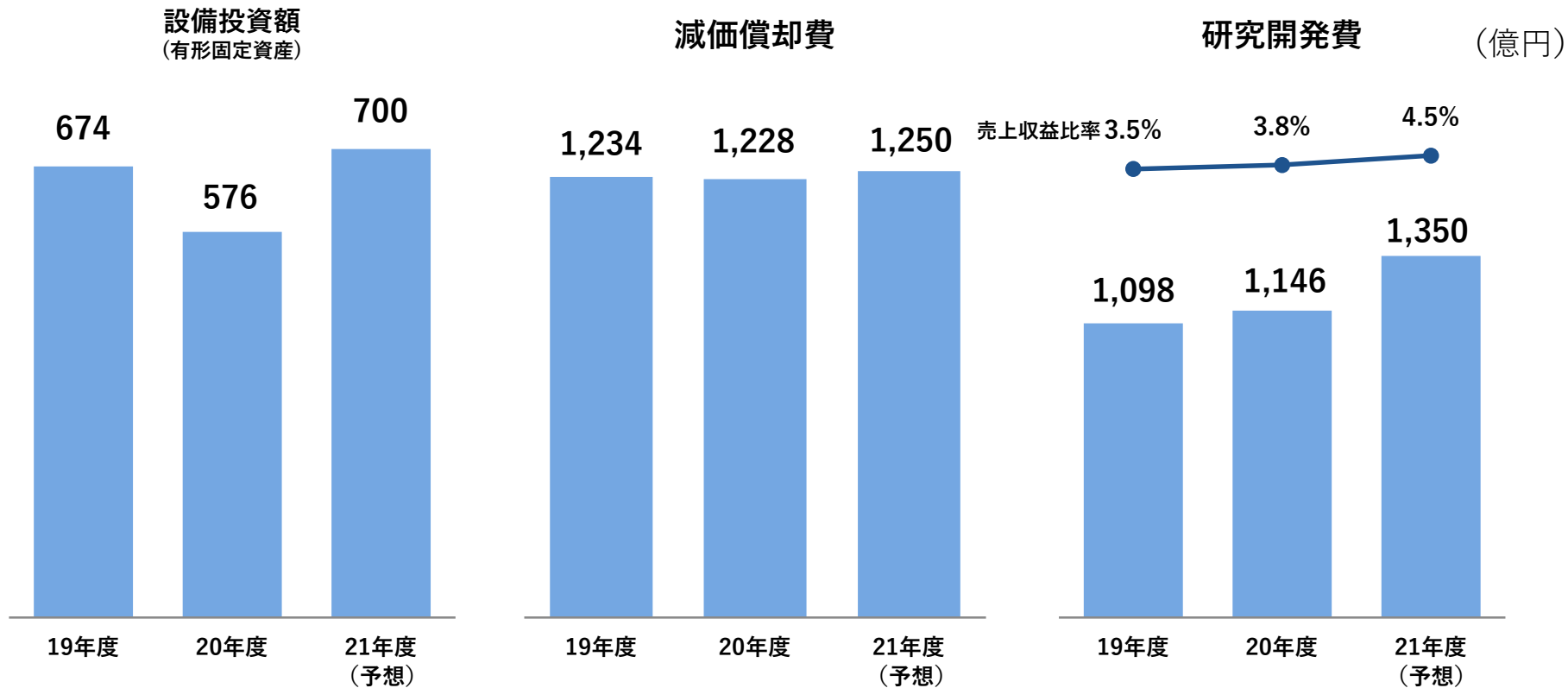


フリー・キャッシュ・フローの状況

(億円)



設備投資額・減価償却費・研究開発費



注意事項

<将来予想に関する注意>

本資料に記載されているNECグループに関する業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。これらの判断および前提は、その性質上、主観的かつ不確実です。また、かかる将来に関する記述はそのとおりに実現するという保証はなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 国内外の経済動向、為替変動、金利変動および市況変動
- ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行による悪影響
- ・ 中期経営計画を達成できない可能性
- ・ 売上および収益の期間毎の変動
- ・ 企業買収・事業撤退等が期待した利益をもたらさない可能性
- ・ 戦略的パートナーとの提携関係の悪化、または戦略的パートナーの製品・サービスに関連する問題が生じる可能性
- ・ 海外事業の拡大が奏功しない可能性
- ・ 技術革新への対応または新技術の商品化ができない可能性
- ・ 競争の激化にさらされる可能性
- ・ 特定の主要顧客への依存
- ・ 新規事業の成否
- ・ 製品・サービスの欠陥による責任追及または不採算プロジェクトの発生
- ・ 供給の遅延等による調達資材等の不足または調達コストの増加
- ・ 事業に必要な知的財産権等の取得の成否およびその保護が不十分である可能性
- ・ 第三者からのライセンスが取得または継続できなくなる可能性
- ・ 顧客の財務上の問題に伴い負担する顧客の信用リスクの顕在化
- ・ 優秀な人材を確保できない可能性
- ・ 資金調達力が悪化する可能性
- ・ 内部統制、法的手続、法的規制、環境規制、情報管理等に関連して行政処分や司法処分を受ける可能性または多額の費用、損害等が発生する可能性
- ・ 実効税率もしくは繰延税金資産に変更が生じる可能性または不利益な税務調査を受ける可能性
- ・ コーポレート・ガバナンスおよび企業の社会的責任に適切に対応できない可能性
- ・ 自然災害、公衆衛生上の問題、武装勢力やテロリストによる攻撃等が発生する可能性
- ・ 退職給付債務にかかる負債および損失等が発生する可能性
- ・ のれんの減損損失が発生する可能性

将来予想に関する記述は、あくまでも本資料の日付における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じ得るものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、当社がこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

（注） 年度表記について、19年度は2020年3月期、20年度は2021年3月期、21年度は2022年3月期（以降も同様）を表しています。